

4 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の取組

No.	資料No	事業名	意見内容	回答
1	-	全体的に	ポストコロナに移行していると共に経済低成長が叫ばれる中で、各々の事業の効果について、短期的～長期的な側面で詳細に分析していただき、持続的な効果が得られる事業の実施を期待したい。 (事業効果の分析的なものではなく、あくまでも「これに取り組みました」という報告的なものが多いので成果を評価しにくい。)	各事業の事業効果は、資料に記載しておりますが、短期的～長期的な側面での詳細な分析は不明確な部分があります。今後は、そのような分析を進めながら、効果的な事業実施に努めます。

令和5年度の実施成果に係る会議意見／回答

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業

会議意見

項 目	意 見	回 答
飼料価格・肥料価格高騰対策事業	農業の生産コストの上昇分が非常に大きく、上昇分が価格に転嫁されないことが非常に大きな問題。そのような中、去年も一昨年も飼料、肥料の価格高騰対策、またハウス農家への支援をいただき感謝している。当面の間、余力がある限り続けていただきたい。	本年度についても、今検討しているところです。価格転嫁の問題につきましては、難しい課題で、国や県に対しても要望をしています。
飼料価格・肥料価格高騰対策事業	日本一の農業産出額を誇る都城でも、非常に農家の離農が多くなっており、都城地域に470ヘクタールの未耕作地がある状況。国の政策がヨーロッパと同じようにならないと、食料自給率38%を脱出できない。	先日、国へ訪問し意見交換したところ、関係者からは、食料安全保障という観点で国策として取り組む必要があると意見がありました。